

日本工学院専門学校	開講年度	2022年度	科目名	卒業制作	
科目基礎情報					
開設学科	グラフィックデザイン科	コース名	全コース	開設期	後期
対象年次	3 年次	科目区分	必修	時間数	420時間
単位数	1 4 単位			授業形態	実習
教科書/教材	参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。				
担当教員情報					
担当教員	川口貴弘、山本佳子、桜庭文一、経真珠美			実務経験の有無・職種	有・デザイナー、ディレクター
学習目的					
この科目では、各自またはゼミのテーマに基づき3年間のまとめとしての作品を制作する。卒業制作は、あくまで社会のニーズにもとづくもの、あるいは社会の問題・課題を改善するものを、調査・考察し、具体的な企画案を提案し、企画にもとづくツールやモックを制作し、広く一般に向けてプレゼンテーションすることを目的とする。					
到達目標					
この科目では、調査力、考察力、企画力、プレゼンテーション力、モノを作るための技術力や表現力、そしてこれら全体を含むプロジェクトを管理(マネージメント)する力を身につけることも目標とする。この中のどれかひとつが長けているのではなく、あくまでバランス感覚に優れた人物になるため、すべての工程において成果を出すよう、取り組むこと。					
教育方法等					
授業概要	これまでの実習科目の進め方とは違い、ゼミの担当教員と学生の「面談」が授業の主体となる。学生は、毎回担当教員に、卒業制作作品の進捗状況および今後の計画について報告し、それに対して教員は適宜必要なアドバイスを実施する。				
注意点	学生は各回ごとに必要な資料をアナログまたはデジタルデータで準備すること。調査、取材などの日程が授業と重複する場合には、実施前日までに担当教員の許可を得ること。授業時限数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	プレゼン	20%	制作物の発表方法、内容について評価する		
	課題完成度	40%	提出課題完成度を総合的に評価する		
	リサーチ	20%	制作準備と過程を評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1 回～1 5 回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1 回	企画アイデア提案		3案以上の企画アイデアを提案し、取り組むべき「課題」を導き出すことができる		
2 回	企画調査		「課題」に基づき、市場調査を行い、ターゲットの動向を把握する		
3 回	企画の立案		市場調査に基づき、「課題」に必要な企画を立案する		
4 回	企画書作成		立案した企画を、想定したターゲットやクライアントに向けた企画計画書としてまとめる		
5 回	企画プレゼンテーション		企画計画書を、必要なビジュアル用いながら具体的に、わかりやすくプレゼンテーションする		
6 回	β 版制作作業①		「課題」を改善するツールやモックのビジュアルを作成し、完成形がわかるものを制作する		
7 回	β 版制作作業②		「課題」を改善するツールやモックのビジュアルを作成し、完成形がわかるものを制作する		
8 回	中間プレゼンテーション		β 版をプレゼンテーションし、教員等の指摘を受け止め、改善点を導き出すことができる		
9 回	制作作業①		「課題」を表現するための最適なメディアを意識して作品を制作する		
1 0 回	制作作業②		「課題」を表現するための最適なマテリアルを選択して作品を制作する		
1 1 回	制作作業③		「課題」が的確に表現できているのか、教員と共に検証作業をする		
1 2 回	制作作業④		検証作業を経て、作品を修正し、納期までに作品を完成させる		
1 3 回	最終プレゼンテーション(講評会)		「課題」と自身の計画を振り返った上で、自身の作品の最終プレゼンテーションを行う		
1 4 回	展覧会準備		展覧会に合わせ、展示計画やツールを検証し、制作する		
1 5 回	展覧会		自身の作品を展示し、他者に自身の「課題」解決提案としての作品を丁寧に説明できる		